

## 平成 28 年度事業報告（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

### 「事業の概要」

平成 28 年度は、総会後の臨時理事会で岡添前理事長の後任に平野吉三氏が就任し、7 人の新理事、監事を迎えた新役員体制でスタートしました。

お陰様で当協会の会員・理事・各委員会・関連団体の皆さまと八王子市のご支援ご協力で、年初に策定した事業計画は、予定通り実施することが出来ました。

特に地球市民プラザ会議室の日本語教室、学習支援教室の利用状況やサポートデスク（外国人の相談窓口利用）の実績を当協会会報で紹介したところ、内外から高い評価と問合せを頂き、関心の高さに驚きました。

また、八王子市制 100 周年プレ記念事業「八王子国際交流フェスティバル 2016」は、石森八王子市長、萩生田内閣官房副長官、JICA 東京代表、来賓各位や日本人、外国人市民ボランティア約 100 名の連携・協働等で、約 1300 名の来場者があり盛況裡に終了出来ました。

### I. 『生活・コミュニケーション支援事業』

#### 1. 「語学ボランティア」

市から受託されている「サポートデスク」、「行政書士による外国人個別相談」や「外国人のための無料専門家相談会」「日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス」や八王子市の海外友好交流都市の交流事業の通訳、八王子市や各種団体・個人からの依頼による通訳・翻訳、企業・諸団体協会の各種の翻訳・通訳を行いました。

「防災・災害対応委員会」と連携して、由井地区防災フェスタ（片倉つどいの森公園）、八王子市総合防災訓練（市立第二中学校）、外国人コミュニティ防災訓練（11 月 21 日・2 月 3 日）、市民センター避難所等開設訓練（子安、北野）に参加しました。

また、語学ボランティアとしてのスキルアップのために、「サポートデスクと外国人相談」・「災害時の外国人支援について」・「学習支援と国際理解教育」・「八王子での日本語学習の外国人支援について」全 4 回の研修会を行いました。

#### 2. 「医療ボランティア」

一般市民、語学ボランティア等を対象に「医療通訳ボランティア研修会」を年 2 回実施し、「眼科」「産婦人科」について学ぶとともに、ロールプレイを行い、語学ボランティアのレベルアップや認知度の向上を図りました。

また、医療カードを改訂し 1500 部印刷し、関係部門に配布しました。

医療通訳者紹介フォーマットを改訂し、活動の目的が明確になるようにしました。

通訳や翻訳など合計 46 件の医療通訳・翻訳を行ないました。

#### 3. 「留学生のための就職支援セミナー」

日本企業への就職を志向する留学生に、就職活動に必要な知識・スキル等を提供する「留学生のための就職支援セミナー」と八王子市内外の優良企業を中心に訪問する「企業めぐり」を実施しました。特に、日本企業に就職した先輩との交流ラウンジは好評で、大いに盛り上がりました。また、八王子市内の有力企業から新たに「企業めぐり」に協力がありました。

#### 4. 「日本語ボランティア養成講座」

基礎講座では、「日本語ボランティアの心構え」と「日本語の特徴や学習の仕方」を重点に実践的な知識を学びました。南大沢で初めて開催して、地域のボランティア団体への橋渡しができました。ステップアップ講座では、従来の日本語学習法を見直し、「発音」「文法」「漢字」「敬語」「教材分析」と学習方法を学びました。講座終了後に、協会加盟団体会員の日本語教室の活動日や会場などを紹介し、団体につながることができました。

## 5. 「防災・災害対応」

語学ボランティア研修会で、災害時の外国人支援について学びました。

さらに町会・自治会・市民センターでの防災訓練に参加して模擬体験を通して、防災設備や手順を確認しました。

また、ネパール人の多く住む地区や八王子モスクで地域の外国人と一緒に防災訓練ができました。本年も八王子国際交流フェスティバルで防災・災害対応訓練を実施しました。

## 6. 「学習支援」

在日日数の短い小・中学生の学習者数が増えています。学習者は教室の受け入れ状況と学習日の状況で、北野学習支援教室または八王子駅前学習支援教室のどちらかで学習をしています。

「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」では、事前に通訳とスタッフのための研修を行い、ガイダンス全てに6か国語の通訳を配して実施し、現役の中学・高校の教師の協力で、生徒と保護者に日本の教育の仕組みや進路のアドバイスをを行いました。

## 7. 「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」

東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア育成講座を東京都と共催で開催しました。(6月：上級者向け、6～7月：初級者向け、10月：上級者向け、11～12月：初級者向け)

また、上記講座の修了者向けに、「八王子外国人語学ボランティアの集い」を開催して親睦を図りました。

## II. 『国際交流事業』

### 1. 「八王子国際交流フェスティバル 2016」

八王子市制100周年プレ記念事業として開催しました。市長以下、国会議員、多数の市会議員等の出席を得て、オープニング・セレモニーを華やかに行いました。

今年は「～多文化でつながる絆八王子“Shall we be on the stage?”～」をテーマに、16か国約100名の外国人ボランティアの参加を得て、楽しく有意義な国際交流イベントが開催できました。

ステージパフォーマンス：13組(うち外国4組)、異文化交流：12か国の出展、日本語スピーチ(6か国、10名)、JICA展示と体験談および民族衣装の試着、Dr. 肥沼の偉業の展示と講演、お茶席など国際色豊かな発表を行いました。また、市民参加の「笑顔の写真展」、子どもが楽しめる遊び(4組)、チェロの演奏体験、救急訓練の体験とアルファー米の試食、八王子の多言語・観光案内など幅広く展開できました。

### 2. 「世界の人とふれあいタイム」

全5回、5か国(セネガル・コロンビア・サウジアラビア・ロシア・メキシコ)のゲスト・スピーカーが出身国の歴史・文化や現状などについて紹介し、参加者とのQ&Aを行い、相互の国際理解を深めました。スピーカーが持参された「お茶やお菓子」を休憩時間にみんなでいただき、なごやかな雰囲気でもできました。

また、5回目(3月12日)の「メキシコの話」からは有料化し、広めの会場を学園都市センターに確保して、参加費300円(ただし当協会会員は無料)を徴収することにしました。

### 3. 「地域における国際交流」

第37回「はちおうじいちょう祭り」は、昨年同様、世界の人と国際交流・国際理解をテーマに参加しました。外国人市民による民族衣装、民族音楽や舞踊の披露のステージ・パフォーマンス、外国人留学生の多言語案内は、来場した市民、学生達との国際交流の広場になりました。

### Ⅲ. 『国際理解事業』

#### 1. 「語学シリーズ」

春・秋・冬期に分け4言語16コースの語学講座を実施しました。本年度より市民の海外旅行志向や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催などを考慮して、「ドイツ語」を新設しました。語学学習を通してその国の歴史や文化などに触れ、国際理解や多文化共生社会の促進に寄与しました。

#### 2. 「国際理解教育」

学校での国際理解教育授業に協力しました。学校、委員会と事務局で事前打ち合わせを行い、より良い授業内容を検討し、中学校1校・小学校4校で実施しました。

職場訪問・職場体験活動として、市内学校教員の研修並びに市内中学生の受入れなどを行いました。

### Ⅳ. 『広報事業』

多くの市民に八王子国際協会の活動を周知・理解してもらうために、積極的に各メディアなどへ情報提供に努めました。「八王子国際交流フェスティバル」の催しをはじめ、「世界の人とふれあいタイム」の話や八王子市総合防災訓練に参加する外国人などの記事が新聞・ミニコミ誌へ掲載され、またJ:COM八王子で放映される等、知名度向上に貢献しました。

会報「地球市民プラザだより」（日本語版、英語版、中国語版）を、2か月ごとに発行して、ホーム・ページにも掲載しました。また会報には、当国際協会の団体会員や団体賛助会員の活動の紹介コーナーを設け、記事を連載しました。

会報は、八王子市議会の方々にも発送して、協会の活動の理解・周知を図りました。

外国人おもてなし講座の受講者など各講座の参加者にも会報を配布して、協会活動の周知と会員獲得に努めました。

また、ホームページに、“What’s New”欄で、59件の情報発信（講座の開催案内やイベントへの参加募集など）を行い、活動への参加を呼びかけました。

### Ⅴ. 『八王子市からの受託事業』

#### 1. 「在住外国人のためのサポートデスク」

八王子在住外国人が1万1千人を超え、外国人を取り巻く環境も複雑化・多様化しています。より精度の高い対応が求められましたが、専門家や他機関とより緊密に連携して対応ができました。

9月から水・土曜日の午後、中国語語学ボランティアが常駐し、サポートデスクで中国語相談対応ができました。また、「行政書士による外国人個別相談」にも、6月から英語、中国語、タガログ語、スペイン語の語学ボランティア、10月から韓国・朝鮮語の語学ボランティアも加わり、多言語対応の通訳ができました。

さまざまな場面で活動する語学ボランティア向けに、八王子国際協会の活動を説明する研修をテーマ別に4回実施しました。

#### 2. 「外国人のための無料専門家相談会」

今年度の相談会は、相談者数は13人、相談件数は15件で、専門家（弁護士、行政書士、社会保険労務士、税理士）や市の相談員など計12人が相談に応じました。通訳（語学ボランティア）15人、スタッフ15人が運営を支えました。八王子市外からの相談者も多く、PRの効果を実感しました。外国人相談における法律の基礎知識を学ぶ研修会や本番の流れのシミュレーションにより、事前準備の体制確認ができました。

#### 3. 「外国人市民の地域への防災訓練参加」

① 8月28日（日）、4町会合同防災訓練（南町、南新町、八日町、上八日町）

会場：南新町ちびっこ公園に、外国人留学生、語学ボランティア、委員会委員など24名が参加しました。

② 9月24日(土)、由井地区町会・自治会連合会主催の防災フェスタ(体験型防災訓練)  
会場:片倉つどいの森公園に、外国人留学生、語学ボランティア、委員会委員など30名が  
参加しました。

#### 4. 「国際理解教育」

八王子市教育委員会が実施していた教員向け夏期パワーアップ研修で、国際理解教育研修の企画・運営を行いました。

#### 5. 「コミュニケーション支援事業」

コミュニティ・グループ・イベントを5回開催し活発に取り組みました。イベントやチラシなどを通して国際協会のFacebookに興味を持ち、コミュニティ・グループに入る人が増えてきました。Twitterでも情報提供ができ、情報交換も盛んになりました。

外国人にとってわかりやすい日本語として、「やさしい日本語」を提案できました。今後は、どのように普及・啓発して行くか工夫をして行きます。

### VI. 協会内の横断活動など

委員長会議を年1回、団体ネットワーク会議を年2回、個人会員懇談会を年1回開催しました。

#### ① 委員長会議

第一部で、講話:テーマ「東京都多文化共生推進指針」について、当検討委員会委員である市多文化共生推進課課長浅岡秀夫氏にお話しをいただき、学習・理解を深める機会になりました。

第2部で、八王子国際協会が紹介プレゼン用に作成した「八王子国際協会へようこそ～多文化共生社会の実現をめざして～」を紹介し、各委員会活動の情報交換も行いました

#### ② 団体ネットワーク会議

第1回では、平成27年度の地球プラザ会議室の団体別利用者数一覧を配布し、会報第49号に掲載する記事を依頼しました。また「八王子国際協会へようこそ」の資料をも紹介しました。

第2回では、東京都多文化推進委員会の報告(日本語教育・学習支援に対する意見、提案)について同委員会委員・多文化共生推進課長浅岡氏から報告・説明を受けて意見交換をしました。

また、議題として、地域の日本語教育のあり方と役割(行政、当国際協会、ボランティア団体)について検討し、来年度は新たに取り組みを始めることを決定しました

#### ③ 個人会員研修会と懇談会

##### 第1部:研修会

テーマ「見方で変わる多文化共生社会の生活」

講師:中山京子氏(帝京大学 教授)

##### 第2部:卓話

テーマ「Dr.肥沼の偉業を語る」

講師:塚本回子氏(Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会代表)

修了後、各講師を囲み会員同士がお茶を飲みながら、懇親の輪が広がりました。

#### ④ 協会団体委員のイベントに参加・交流

八王子国際友好クラブ、「新年会」 1月15日(日)、北野市民センター

日中友好協会八王子支部 「春節を祝う会」 2月5日(日)八王子労政会館

#### ⑤ その他 催し・イベントに協力

Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会、八王子NPO フェスティバル、東京都外国人おもてなし語学ボランティア育成講座、八王子市制100周年プレ記念事業、八王子市教育委員会(夏期10年目教師研修職場体験)八王子青年会議所(海外から学ぼう)、東京都消防庁防災部(八王子モスク対象防災訓練)、町会自治会連合会防災フェスタ(東京都地域底力再生事業・国際版)、八王子古本祭り、J:COM 八王子(八王子人図鑑)、北原国際病院(カンボジアに病院輸出)、新設・首都大学東京ボランティアセンター、イピルイピルの会(ボスニア・ヘルツェゴビナ子供絵画展)、お父さんおかえりなさいパーティ、JICA(わたしはマララ映画会)、東京都国際

交流団体連絡会事業、八王子生涯学習コーディネータ会、三鷹市教育委員会指導課等に協力・支援しました

## **VII. 「将来構想検討プロジェクト委員会」の新設**

「法人化推進プロジェクト委員会」の2年間の活動の反省を踏まえ、法人化を含めた協会のあるべき姿の実現と、そこに至るまでの解決すべき課題の克服を目的として新たに「将来構想検討プロジェクト委員会」を立ち上げました。

1. 財政基盤の確立
2. 組織・体制・人事の強化
3. 会員数の拡大と会員活動の活性化
4. 法人化（一般財団法人）の実現

を主要な課題として掲げ、自主財源の確保と会員活動の活性化の一助として

1. 団体年会費の値上げ
2. 非会員を対象とした語学シリーズ受講料の値上げ
3. 非会員を対象とした「世界の人とのふれあいタイム」の有料化
4. 学習支援の受講料の徴収

等に取り組みました。

<主催事業>

I. 生活・コミュニケーション支援事業

1. 事業名： 語学ボランティア

概 要	詳 細
<p>○語学ボランティア 登録者、20 言語 225 名</p> <p>○通訳・翻訳件数 288 件 (含医療通訳・翻訳 46 件)</p>	<p>言語別内訳：(複数登録)</p> <p>英語 137、中国語 46、韓国語 15、スペイン語 22、ドイツ語 5、ポルトガル語 3、ロシア語 4、フランス語 7、アラビア語 4、ラオス語 1、タガログ語 11、タイ語 3、ネパール語 1、モンゴル語 1、ベトナム語 2、ビサヤ語 2、インドネシア語 3、ミャンマー語 1、ヒンディー語 1、ビコール語 1</p> <p style="text-align: right;">計 270 名</p> <p>☆災害時通訳ボランティア 登録者数：9 言語 47 名 ☆医療通訳ボランティア 登録者数：8 言語 49 名 ☆八王子インフォメーションセンター電話通訳 登録者数：8 言語 24 名</p> <p>○生活支援事業の通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サポートデスク」・「行政書士による外国人個別相談」・「外国人のための無料専門家相談会」・「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」</li> </ul> <p>○八王子市海外友好交流都市事業の通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子いちょう祭り始興市政府夕食会時通訳 11 月 15 日 (火)</li> </ul> <p>○八王子市より依頼された通訳</p> <p>○協会の会報、各種案内などの翻訳</p> <p>○日本人・外国人市民からの依頼に基づく手紙などの翻訳</p> <p>○企業、諸団体等からの翻訳・通訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京八王子高尾ライオンズクラブの台北栄成ライオンズクラブ (台湾) との交流事業翻訳</li> <li>・Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会など</li> </ul>
<p>○語学ボランティア 防災訓練参加</p>	<p>○由井地区防災フェスタ (片倉つどいの森公園)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9 月 24 日 (土) 語学ボランティア 7 名派遣</li> </ul> <p>○八王子市総合防災訓練 (市立第二中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 28 日 (日) 語学ボランティア 7 名派遣</li> </ul> <p>○外国人コミュニティ防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11 月 21 日 (日) ネパール人居住のアパート 語学ボランティア 2 名派遣</li> <li>・2 月 3 日 (金) 八王子モスク 語学ボランティア 1 名派遣</li> </ul> <p>○市民センター避難所等開設訓練 (子安、北野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 2 月 17 日 (金)、語学ボランティア 2 名派遣</li> </ul>
<p>○語学ボランティア懇談会</p>	<p>○八王子外国人おもてなし語学ボランティアの集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：1 月 29 日 (日)</li> </ul>

<p>○語学ボランティア研修会の開催</p> <p>○プロジェクト委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：学園都市センター第5セミナー室</li> <li>・講演：外国人から見たおもてなし 講師：ディレック・ウェスマン氏（蛇瀧商会代表取締役）</li> <li>・参加者：48名</li> </ul> <p>さまざまな場面で活動する語学ボランティア向けに、八王子国際協会の活動について研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回語学ボランティア研修 ～サポートデスクと外国人相談～ 日時：平成28年9月17日（土） 会場：国際交流室 参加者：語学ボランティア10名（含むベトナム1名）</li> <li>○第2回語学ボランティア研修 ～八王子国際協会 災害時の外国人支援について～ 日時：平成28年10月22日（土） 会場：国際交流室 参加者：語学ボランティア7名</li> <li>○第3回語学ボランティア研修 ～八王子国際協会 学習支援と国際理解教育～ 日時：平成28年11月5日（土） 会場：国際交流室 参加者：語学ボランティア13名（含む中国1名、韓国1名）</li> <li>○第4回語学ボランティア研修 ～八王子での日本語学習の外国人支援について～ 日時：平成28年12月17日（土） 会場：国際交流室 参加者：語学ボランティア7名</li> </ul> <p>○年5回開催（10/8、11/25、1/27、2/24、3/24）</p>
<p>成果：</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*八王子市から翻訳依頼は減少したが、様々な団体や個人からのいろいろな翻訳依頼が増加した。</li> <li>*医療通訳は今年も40件を超え、定期的な依頼も多い。また、八王子市内だけでなく都立病院など様々な施設からの問い合わせや依頼があった。精神科に関する通訳件数が増加した。</li> <li>*「進学ガイダンス」「外国人のための専門家相談会」だけでなく、月1回開催される「行政書士相談」でも英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タガログ語の語学ボランティアが参加し、法律相談の知識を深め、語学ボランティア同士が顔を合わせる機会となり、交流の輪が広がった。</li> <li>*中国語語学ボランティアが週2回午後常駐し、サポートデスクで中国語での相談ができた。</li> <li>*語学ボランティアがレベルアップできるような東京都主催等の語学ボランティア向け研修会に情報提供をした。</li> <li>*防災・災害対応委員会との連携で今年度も実践的な研修が実施できた。</li> </ul>

課題：

- \* 語学ボランティア登録制度ができてから8年が経過した。語学ボランティアのあり方について語学ボランティア検討プロジェクト（新設）で検討を進めている。
- \* ボランティア活動の機会・範囲が増えるよう、引き続き語学ボランティアの周知度を高めていく。
- \* さまざまな依頼に応えられるよう、今後も語学ボランティアのレベルアップのための取り組みが必要である。

2. 事業名： 医療ボランティア（委員会）

概 要	詳 細
<p>○医療通訳研修会開催 （一般市民対象）</p> <p>○医療通訳・翻訳</p> <p>○医療カードの改訂</p> <p>○医療通訳者紹介フォーマットの改定</p> <p>○委員会</p>	<p>○第10回医療通訳ボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・開催日：9月4日（日）</li><li>・場所：クリエイトホール第2学習室</li><li>・講師：中村 春木氏 （医学博士、臨床検査技師、通訳案内士、通訳専門学校校長代行）</li><li>・テーマ：眼科の講義とロールプレイ</li><li>・参加者：20名</li></ul> <p>○11回医療通訳ボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・開催日：平成29年2月5日（土）</li><li>・場所：学園都市センター 第5セミナー室</li><li>・講師：柴田産婦人科副院長</li><li>・テーマ：産婦人科の講義とロールプレイ</li><li>・参加者：30名</li><li>・受講料：500円を徴収</li></ul> <p>○医療通訳・翻訳件数46件</p> <p>○平成23年に発行した医療カードを改定、1,500部を印刷して関係先へ配布した。</p> <p>○医療通訳者の立場（ボランティア）をより明確にする目的で、内容を改定した。</p> <p>○年12回開催（4/28、5/12、6/16、7/14、8/24、9/15、10/28、11/18、12/9、1/20、2/10、3/10）</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>* 一般市民を対象とした医療ボランティア研修会の開催により、参加者の医療知識や医療通訳技術のスキルアップとともに、一般市民への周知や啓蒙を図ることができた。</li><li>* 研修会の受講料を徴収して、収入増に寄与した。</li></ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>* ボランティアである医療通訳者を保護するために、医師賠償保険の対象者とするよう、関係先に働きかける。</li><li>* 医療ボランティア委員会委員が少ないので、増員を図る。<ul style="list-style-type: none"><li>* 市内医療機関との連携を促進する方策を検討する。</li></ul></li></ul>	

### 3. 事業名： 留学生のための就職支援セミナー

概 要	詳 細
<p>「留学生のための就職支援セミナー」の開催            対象：日本や八王子市の企業に就職を目指している留学生            共催：NPO 法人留学協会            後援：八王子市、八王子商工会議所、大学コンソーシアム八王子            協力：東京外国人雇用サービスセンター</p> <p>○企業めぐり</p>	<p>○就職支援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：11月26日(土)</li> <li>会場：八王子(東急)スクエアビル12階 第5セミナー室</li> <li>参加者：留学生20名、関係者10名</li> <li>・講演：「日本の企業に就職するにあたって」            講師：梅山 香代子氏            (東京外国人雇用サービスセンター・ハローワーク新宿・雇用指導官)</li> <li>・「個別就職相談」            相談員：梅山 香代子氏            同センターへの登録により採用情報、相談・セミナーへの参加等フォローアップが行われた。</li> <li>・「日本企業に就職した先輩との交流ラウンジ」            講師：NPO 法人留学協会</li> <li>・「留学生が就職活動にあたり、考えておきたいこと」            講師：石田 光氏 (株式会社夢道S 代表取締役)</li> <li>・「国際化している八王子の企業とその仕事」            講師：久田 伸之氏 (市産業振興部企業支援課主査)</li> <li>・「八王子の優良企業の紹介」            講師：古瀬 智之氏 (株式会社 コスモ計器代表取締役)            講師：檜山 竹生氏 (株式会社 エイビット代表取締役)</li> </ul> <p>○企業めぐり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：12月7日(水)</li> <li>・参加者：20名</li> <li>・訪問先：            日本水産株式会社八王子総合工場～株式会社大島椿本舗本社工場            ～オリンパス株式会社技術歴史館「瑞古洞」</li> </ul>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*前年度から課題であった新規企業めぐりは、日本水産(株)と(株)大島椿本舗の異業種の生産ラインを見学することができ、参加者から大変な好評を得た。</li> <li>*少子高齢化の中、優秀な留学生のわが国や本市地元企業への就職は重要な課題である。            参加者から「内容が充実していて、大変参考になった」、「企業が求めている人材などを知り、勉強になった」等の感想が多く寄せられた。            次年度も先輩との交流ラウンジを設けるなど、留学生にとってより魅力的なメニューを提供する。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*就職支援セミナーについては、終日にわたり開催してきたプログラムを見直すこととし、企業訪問は、市内外の優良企業の訪問を実現するとともに、大学コンソーシアム八王子との連携の強化を図りたい。</li> <li>*文部科学省の調査によると留学生の70%は日本企業に就職希望している、だが現実には厳しい。</li> </ul>	

#### 4. 事業名： 日本語ボランティア養成講座（委員会）

概 要	詳 細
<p>○「日本語ボランティア基礎講座」の開催</p>	<p>○日本語ボランティア基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：6月5日(日)～7月17日(日) 毎週日曜日 全5回</li> <li>・会場：学園都市センター南大沢分館第3学習室</li> <li>・対象者：日本語ボランティアを始めようとしている方 日本語ボランティア初歩の方</li> <li>・参加費：5000円（但し 当協会会員は4500円）</li> <li>・受講者数：23名</li> <li>・講師：林川 玲子氏 (東京日本語ボランティアネットワーク事務局長) 金子 広幸氏、宮崎 妙子氏 藤橋 帥子氏 (東京日本語ボランティアネットワーク講師)</li> <li>・講座内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>*地域日本語ボランティアとは・・・(1) 日本語ボランティア活動の現状、その目的と役割、心構え</li> <li>*人と付き合う 「人間関係を作る」ことの意味を考えよう</li> <li>*外国人学習者の日本語の習い方(1) 「日本語の教え方」を習うのではなく、「日本語の習い方」を習おう</li> <li>*外国人学習者の日本語の習い方(2) 「身の回りのものを使って何かできるだろうか」</li> <li>*外国人学習者の日本語の習い方(3) 「文法積み上げ型ではない活動例」</li> </ul> </li> </ul> <p>○講座終了後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座終了後、日本語ボランティアの経験談を紹介し、活動参加を促した。アンケートをとり、事務局が各団体と日本語ボランティア希望の受講者をつないだ。</li> </ul>
<p>○「日本語ボランティア・ステップアップ講座」の開催</p>	<p>○日本語ボランティア・ステップアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月10日(月)～11月13日(日) 全5回</li> <li>・会場：学園都市センター 第3・4セミナー室 クリエイトホール第5学習室</li> <li>・対象者：日本語ボランティアをしている方 日本語文法など基礎学習を終えた方</li> <li>・参加費：各回1000円（但し全講座の受講者は4500円）</li> <li>・受講者数：延べ17名</li> <li>・講師：川口 義一氏（早稲田大学名誉教授、 東京日本語ボランティアネットワーク講師）</li> <li>・講座内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>*発音：教授法のちょっとした知識で出来る、 簡単な発音習得の支援</li> <li>*文法：教授法のちょっとした知識で出来る、 簡単な文法習得の支援</li> <li>*漢字：教授法のちょっとした知識で出来る、</li> </ul> </li> </ul>

<p>○委員会</p>	<p>漢字習得の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*敬語：教授法のちょっとした知識で出来る、 簡単な敬語習得の支援</li> <li>*教材分析：教授法のちょっとした知識で出来る、 教材の批判的分析</li> </ul> <p>○講座終了後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より日本語ボランティアへの参加呼びかけを行った。</li> </ul> <p>○年4回開催 2/23、7/2、11/6、11/12</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*南大沢で初めて基礎講座を開催し、講座参加者が南大沢地域で日本語ボランティアを始めるきっかけになった。八王子市外からの参加者もあり、市外の情報も得ることができた。</li> <li>*基礎講座およびステップアップ講座いずれも、講師陣は「東京日本語ボランティアネットワーク」からの派遣だったが、地域日本語教室の性格をよく理解し、これを踏まえて指導していただくことができ、受講者からも好評だった。</li> <li>*講座修了後のアンケートによると講座は好評で、協会や日本語教室を主宰する団体会員からの受講者への呼びかけも効果があり、ボランティアを始める受講者が増えた。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*地域日本語教室では、常に日本語ボランティアが足りないので、日本語ボランティアの認知度を高め、日本語ボランティアを増やす必要がある。日本語ボランティアの育成には、地域日本語教室を主宰している団体と協力する必要がある。</li> <li>*ステップアップ講座の参加者が少なかったため、開催日時、場所などを再検討する。</li> <li>*講座終了後、日本語ボランティアを継続していくために、ボランティア同士の交流も必要と思う。</li> </ul>	



## 6. 事業名： 学習支援 (委員会)

概 要	詳 細
<p>○北野学習支援教室 北野市民集会所で運営</p> <p>○八王子駅前学習支援教室 八王子国際協会会議室で運営</p> <p>○日本語を母語としない 親子のための高校進学ガイ ダンス 保護者を交え通訳を配し 開催</p> <p>○委員会</p>	<p>○北野学習支援教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習日時：毎週水曜日 15:00～19:00</li> <li>・4月～3月まで全40回</li> <li>・平成29年3月末の学習者累計数：18名 学習支援者累計数：25名</li> <li>・月1回身近な題材を使った小学生のための理科実験をしている。</li> </ul> <p>○八王子駅前学習支援教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習日時：毎週月曜日 16:00～19:00</li> <li>・4月～3月まで全37回</li> <li>・平成29年3月末の学習者累計数：19名 学習支援者累計数：24名</li> </ul> <p>○支援者ミーティングを開き学習支援の情報・状況等を共有し、より良い学習の環境づくりを常に検討した。</p> <p>○対象児童・生徒は通学の利便で教室を選択している。</p> <p>○これまで、学習者の保護者1名に会員登録を促し、学習者の人数に関係なく会費を1名分だけ支払ってもらっていたが、28年度より学習者1人につき2,000円（兄妹学習者は、1,500円）を学期毎に納入してもらい、運営費を助成している。</p> <p>○ガイダンスに先立つ通訳者への事前研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会：10月8日（土）参加者：14名</li> <li>日本の教育制度・高校入試の仕組みや用語を事前に研修した。</li> </ul> <p>○高校進学ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：10月23日（日）</li> <li>・学園都市センター第1セミナー室</li> <li>・参加者：71名（内訳：相談者生徒32名、保護者付添など29名）</li> <li>・スタッフ：中学・高校教諭、ボランティアなど50名が協力した。</li> </ul> <p>○毎月第1水曜日（8月を除く）、支援の前に委員会を開催</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*児童・生徒にとって学習教室は、さらに「居場所」となり、母語や文化など自分のルーツを大切に維持した学習を支援できるようになっている。</li> <li>*保護者との面談は、学習者親子の学習に対する意識が高まり、学習教室に対する保護者の信頼がより強くなり、学習をする環境を整えつつある。支援者と保護者が同じ高さの目線で子どもの学習や生活を支える共通意識が生まれてきている。</li> <li>*北野学習教室と八王子駅前学習教室では、通室している子どもたちの生活環境が異なり、学習支援の対応の仕方も変わってきている。</li> <li>*市内大学生や高校生などが支援に加わってくれるようになり、年齢の近い支援者に対する子ども達の反応も非常に良い。</li> <li>*3人いた高校受験生は、高校入試合格を果たした。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*近年成長してから来日する児童・生徒の数が増え、日本語の習得が十分でない上記の児童・生徒が目立っている一方、日本生まれの日本育ちで多言語・多文化で育つ子どもの学習用語の不足も目立ち、これら学習者の中学校生活は学習に壁を作っているケースが露呈している。</li> </ul>	

7. 事業名： 「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」開催

概 要	詳 細
<p>○東京都と共催で講座開催</p> <p>○英語上級者向け</p> <p>○英語初級者向け</p>	<p>○第2回「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」 会場：学園都市センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語上級者向け 平成28年6月26日(日) 参加者：60名</li> <li>・英語初級者向け 平成28年6月22日(水)～7月20日(水) 全：5回 参加者：36名</li> <li>・八王子外国人語学ボランティアの集い(1) 八王子国際協会の御案内 会場：国際交流室 平成28年7月20日(水) 参加者：34名</li> </ul> <p>○第3回「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」 会場：学園都市センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語上級者向け 平成28年10月31日(月)参加者：48名</li> <li>・英語初級者向け 平成28年11月19日(土)～12月17日(土) 全：5回 参加者：36名</li> <li>・八王子外国人語学ボランティアの集い(2) 八王子国際協会の御案内 会場：国際交流室 平成28年12月17日(日) 参加者：32名・</li> </ul> <p>○八王子外国人語学ボランティアの集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：1月29日(日)</li> <li>・会場：学園都市センター第5セミナー室</li> <li>・内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 外国人から見たおもてなし 講師：ディレック・ウェスマン氏(蛇瀧商会代表取締役)</li> <li>2. 懇談会</li> </ul> </li> <li>・参加者：48名</li> </ul>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座に参加してもらった機会ができた。</li> <li>* 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座終了後、八王子国際協会の活動についてなどPRし、国際協会の活動に参加してもらいことができた。また、修了生同士の交流の輪が広がった。</li> <li>* 講座修了生に「おもてなし」とは何かについて考えてもらうことができた。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座の希望者(抽選)が多く、まだ参加できない方が多い。</li> <li>* 育成講座修了後、八王子国際協会の活動に参加する方がまだ少ない。</li> </ul>	

## II. 『国際交流事業』

### 1. 事業名： 八王子国際交流フェスティバル (委員会)

概 要	詳 細
<p>○八王子国際交流フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月2日(日) 11:00~17:00</li> <li>・来場者：1,300名</li> <li>・協力外国人の参加：16か国 100名</li> </ul> <p>・JICA 八王子学生委員会と共催 協力：八王子市</p> <p>・テーマ 「～多文化でつながる絆八王子“Shall we be on the stage?”～」</p> <p>八王子市制100周年プレ記念事業</p>	<p>○八王子国際交流フェスティバル2016</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ・パフォーマンス：15組(内：外国7組)、異文化交流：12か国の出展、遊び(日本：4組、外国：1組)の出展を得て、国際色豊かな発表ができた。</li> <li>・市民から応募「笑顔の写真展」を実施した。(応募総数：62件) 来場者による「シール投票」の数で優秀賞を決定し表彰した。</li> <li>・高尾登山電鉄(株)、高尾山薬王院、(公)八王子観光協会、相模湖プレジャーフォレスト、NTT 東日本、八王子市などから提供された協賛品を賞品として授与した。</li> <li>・また、最後の写真展の結果発表と表彰式では、学生委員会のメンバーがユニークなパフォーマンスで場を盛り上げた。</li> <li>・JICAの展示コーナーでは、シニア海外ボランティアの講演「中米コスタリカでの体験談」や民族衣装の試着に若い人がたくさん集まった。</li> <li>・日本語スピーチには、10人(6ヶ国)が参加して、自分の思いを語った。スピーチの後はお茶席に招待し、日本文化を味わった。</li> <li>・八王子消防署の協力を得て、防災・救急訓練を防災・災害対応委員会が実施した。救急訓練の体験やアルファ米の試食でにぎわった。</li> <li>・Dr. 肥沼の偉業を知る展示や講演は、多くの来場者の共感を得た。</li> <li>・書道・折り紙・お手玉などの日本の遊びは外国人の人気が高かった、また、中高生によるレインボールーム、バルーンアートには、子どもたちがたくさん集まった。</li> <li>・チェロの演奏体験、ゆるキャラ「松姫マッピー」、ター坊腹話術、イス・ヨガ、似顔絵コーナー、和服の試着など盛りだくさんの催しを行った。</li> <li>・協会団体会員の出展による活動紹介や外国人のための行政書士による相談会を行った。</li> <li>・福祉作業所スマイル工房が手作り焼き菓子を販売した。</li> <li>・また、八王子の多言語観光案内やごみ分別処理・環境改善の展示(多言語ごみカレンダー配布等)など幅広く展開した。</li> <li>・フェスティバル・ポスターを制作した学生の作品を展示をした。</li> <li>・日本人市民をはじめ、外国人市民・留学生・学生・ボランティアのグループなどの協力で、市民と外国人市民との交流、パフォーマンス、日本文化や外国文化の紹介ができた。</li> <li>・来場者に楽しみながら国際交流を経験してもらい、国際交流の広場を提供できた。</li> </ul> <p>○マスメディアでの紹介 読売新聞多摩版(朝刊) J：COM八王子 放映 ミニコミ誌での紹介(ショッパー、もしもし新聞、よみっこ)</p>

○委員会	○年 10 回開催 (4/6 委員長選出、4/28、5/9、6/3、7/5、8/4、9/1、9/28、10/1 ボランティアの配置、10/2 当日/反省会)
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 学生委員会からの当委員会へ積極的に組織的な参加があった。 当日は 10 人が笑顔の写真展と喫茶コーナーの運営を一手に担う活発な取り組みがあった。</li> <li>* 16 か国 100 名の外国人の参加で、ステージ・パフォーマンスや異文化交流などで国際色豊かなフェスティバルが開催できた。</li> <li>* 幼稚園児の盆踊りやよさこいソーラン演舞の参加や中高生によるお茶席、遊びのひろば（書道、折紙、お手玉、バルーンアート、レインボールーム）などで、家族ぐるみで子どもから大人までが楽しめるフェスティバルが提供できた。</li> <li>* 八王子消防署と防災・災害対応委員会の協力を得て、来場した外国人に、AED 取扱い・包帯法などの応急救護訓練や、アルファー米炊き出し・乾パンなどの給食訓練を行った。また日、英、中、韓、スペイン語の 5 か国語で記述された「災害ヘルプカード」を配布して、防災意識の向上を図った。</li> <li>* 日本語スピーチには、当日の飛び入り参加もあり、6 か国・10 名が想いを語った。</li> <li>* 多言語ごみカレンダーを展示・配布して、理解・周知に努めた。</li> <li>* 約 40 名の学生、当国際協会の会員、外国人市民のボランティアの協力で、会場準備と後片付けもスムーズにできた。</li> <li>* 委員が各方面で周知に頑張ったので、ステージ・パフォーマンスやその他のイベントなどの参加者・協力者が、これまで以上に増加して、にぎやかで充実したフェスティバルになった。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 来年度は、市制 100 周年記念事業として取り組み、協力する。</li> <li>* 八王子学生委員会との連携・協力を今後も強化・推進していく。</li> </ul>	

## 2. 事業名： 世界の人とふれあいタイム （委員会）

概 要	詳 細
<p>○世界の人と ふれあいタイム実施</p> <p>○ミニコミ誌に掲載</p> <p>○委員会</p>	<p>○世界の人とふれあいタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第77回 4月24日(日) 参加者：62名 国：セネガル共和国 ゲスト：マネ・ラミン さん (Mr. Mane Lamine )</li> <li>・第78回 6月26日(日) 参加者：34名 国：コロンビア共和国 ゲスト：大貫咲里さん (Ms. Sari Onuki Martinez)</li> <li>・第79回 9月11日(日) 参加者：72名 国：サウジアラビア王国 ゲスト：クルディ・ゼヤード さん (Mr. Kurdi Zeyad)</li> <li>・第80回 12月11日(日) 参加者：58名 国：ロシア連邦 ゲスト：メドベージェワ・タチアナ さん ( Ms. Медведева Татьяна )</li> <li>・第81回 平成29年3月12日(日) 参加者：50名 国：メキシコ合衆国 ゲスト：モレノ・デニッセ さん (Ms. Moreno Flores Denisse Alejandra)</li> </ul> <p>○ミニコミ誌に紹介された セネガル共和国の話：ショッパー コロンビア共和国の話：もしもし新聞 サウジアラビア王国の話：ショッパー ロシア連邦の話：もしもし新聞、よみっこ メキシコ合衆国の話：もしもし新聞、よみっこ</p> <p>○年5回のイベントの終了後に、反省会を開催し、次回のゲスト スピーカーとの打合せを行った。 (4/24、6/26、9/11、12/11、3/12)</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 多彩な外国人ゲスト・スピーカーを招くことができた。 スピーカーは皆、自国の歴史・文化や現状などを映像や音楽をまじえて、熱心に具体的に紹介してくれた。身近にその国のことを理解できて、参加者アンケート結果も大変評判が良かった。また、スピーカーが持参された「お茶やお菓子」を休憩時間にみんなで頂き、なごやかな雰囲気でも交流もできた。</li> <li>* この会を楽しみにしている常連客も多く、会場は毎回満席になっている。</li> <li>* 最後（5回目）の会は有料にした。 学園都市センターに広い会場を確保して、参加料 300 円（八王子国際協会の会員は無料）を徴収した。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* ゲスト・スピーカーの選定や折衝が大変である。人脈や情報源を広げて、たくさんの人にスピーカーを紹介してもらって活動を引き続き行っていく。</li> </ul>	

### 3. 事業名： 地域における国際交流 （八王子いちよう祭に参加）

概 要	詳 細
<p>第 37 回八王子いちよう祭りに参加</p>	<p>○八王子いちよう祭りは 11 月 19 日（土）、20 日（日）の 2 日間、祭典広場で開催された。八王子いちよう祭りプレ市制 100 周年記念事業、テーマ～新しいことを試みよう！～</p> <p>初日は雨天で出足が少なかった、2 日目は好天に恵まれ 2 日間で 49 万人を超える来場者で賑わった。</p> <p>○八王子国際協会は、世界の人との国際理解、国際交流をテーマで参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人市民によるステージ・パフォーマンスとして、中国、韓国、インドネシア 3 か国による民族衣装による民族音楽や舞踊を披露して国際文化交流は好評を得た。</li> <li>・留学生 7 名による多言語司会進行および来客市民と学生との交流をした。多言語ごみカレンダー、八王子多言語観光案内、災害ヘルプカード等の配布で多言語での啓発活動に努めた。</li> <li>・同じテントに Dr.肥沼信次の偉業を伝えるパネル展示を行い、PR 活動に協力した。</li> <li>・目印となる「八王子国際協会」のぼり旗を新調して、テント前に飾った。</li> </ul>
<p>成果</p> <p>いちよう祭を通して国際理解、国際交流や多文化共生の啓発啓蒙活動に繋がった。 留学生にとって日本のお祭り伝統文化を体験し貴重な体験になった。 学生委員会の協力で学生広場テントの使用やステージ利用が無償で提供受けて、有効活用が出来た。</p> <p>課題</p> <p>昨年同様、予算の関係で初日（11 月 19 日）のみの参加となった。 20120 年、東京オリンピック・パラリンピックに関連して国際化の流れや来客が多いいちよう祭に、2 日間、参加出来る予算処置等の取り組みづくりが必要である。</p>	

### Ⅲ. 国際理解

#### 1. 事業名： 語学シリーズ (委員会)

概 要	詳 細
<p>○市民に語学学習を通して、その国の文化・歴史を理解してもらい、国際理解や多文化共生社会の促進に貢献</p> <p>○「語学講座」の開催 4言語 16 コースの講座を木曜日、金曜日及び土曜日に実施</p>	<p>○春期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス語でパリから地方へ 全10回 開催日：5月12日(木)～7月14日(木) 講師：ステファン・デュセリエ氏 受講者：20名</li> <li>・旅行イタリア語 全10回 開催日：5月12日(木)～7月14日(木) 講師：スッチ・マッシモ氏 受講者：15名</li> <li>・異文化理解のための英文講読 全10回 開催日：5月13日(金)～7月15日(金) 講師：キャロリン・オバラ氏 受講者22名</li> <li>・旅行英語 全10回 開催日：5月14日(土)～7月16日(土) 講師：ポール・マッカカン氏 受講者：23名</li> <li>・ネイティブと学ぶ英会話 全10回 開催日：5月14日(土)～7月16日(土) 講師：ポール・マッカカン氏 受講者：21名</li> </ul> <p>○秋期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのフランス語 全10回 開催日：9月29日(木)～12月8日(木) 講師：ステファン・デュセリエ氏 受講者：20名</li> <li>・旅行イタリア語 全10回 開催日：9月29日(木)～12月8日(木) 講師：スッチ・マッシモ氏 受講者：18名</li> <li>・異文化理解のための英文講読語 全10回 開催日：9月30日(金)～12月2日(金) 講師：キャロリン・オバラ氏 参加者19名</li> <li>・旅行英語 全10回 開催日10月1日(土)～12月3日(土)</li> </ul>

	<p>講師：ポール・マッカン氏  参加者 19 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイティブと学ぶ英会話 全 10 回  開催日：10 月 1 日(土)～12 月 3 日(土)  講師：ポール・マッカン氏  受講者：19 名</li> </ul> <p>○冬期講座：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのフランス語 全 10 回  開催日：1 月 26 日(木)～3 月 30 日(木)  講師：ステファン デュセリエ氏  受講者：21 名</li> <li>・初めてのイタリア語 全 10 回  開催日：1 月 12 日(木)～3 月 16 日(木)  講師：スッチ マッシモ氏  受講者：17 名</li> <li>・異文化理解のための英文講読 全 10 回  開催日：平成 29 年 1 月 13 日(金)～3 月 17 日(金)  講師：キャロリン オバラ氏  参加者：18 名</li> <li>・初めてのドイツ語 全 10 回  開催日：2 月 3 日 (金) ～4 月 7 日 (金)  講師：アレクサンドラ・シュワルツ  参加者：15 名</li> <li>・旅行英語 全 10 回  開催日：平成 29 年 1 月 14 日(土)～3 月 18 日(土)  講師：ポール・マッカン氏  受講者：17 名</li> <li>・ネイティブと学ぶ英会話 全 10 回  開催日：1 月 14 日(土)～3 月 18 日(土)  講師：ポール・マッカン氏  受講者：26 名</li> </ul> <p>○委員会  年 5 回開催 (4/11、6/27、9/15、12/12、1/23 )</p>
<p>成果：  *東京オリンピック・パラリンピックを控えて「旅行／初めてイタリア語」、「ネイティブと学ぶ英会話」、「初めてのドイツ語」を新設した。来年は「おもてなし英語」や「中級英会話」の新設を予定している。</p> <p>課題：  *講師の確保、最適な受講者数（現在は最大 26 名）などが当面の課題である。  *会場が民間ビルの地下室のため、学習環境に多少の問題がある。</p>	

## 2. 事業名： 国際理解教育

概 要	詳 細
<p>○国際理解教育授業への協力 学校へ外国人講師を派遣</p> <p>○協会での職場体験等受入れ</p> <p>○国際理解講座</p> <p>○委員会</p>	<p>○学校での国際理解教育授業への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校：小学校4校・中学校1校</li> <li>・外国人ボランティア講師（協力者数：8か国、11名） タイ、中国、パキスタン、アメリカ、セネガル、フィリピン、サウジアラビア、インドネシア</li> <li>・学校と外国人ボランティア講師とは、事前打ち合わせをしっかりと行い授業の充実をはかっている</li> </ul> <p>○研修等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現任教員の10年目研修として職場体験を受入れ</li> <li>・市内中学生の職場体験活動の受入れ</li> </ul> <p>○国際理解講座</p> <p>テーマ：異文化を知れば日本がわかる 青年海外協力隊「ドミニカ共和国冒険談」から</p> <p>講師：山田優氏（JICA 多摩地区デスク）</p> <p>日時：平成29年3月5日（日）1：30～3：30</p> <p>参加者数：29名</p> <p>○年8回開催（4/19、5/17、6/22、7/20、10/6、12/15、2/9、3/16）</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*委員会と学校の担当教師が話し合い授業づくりに取り組んだ結果、どの授業も子どもたちの生き生きとした表情がみられた。また協力した外国人ボランティア講師も良い経験ができたこと、双方に好評を得ている。小学校・中学校共に、英語教育に関連した授業協力が多くなった。</li> <li>*毎年依頼のある学校・前任校での経験に基づき新たに依頼のある学校など、教員による協会への関心・信頼が高まってきた。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*国際理解教育授業を行う学校の意識が向上しつつあり、道徳・環境・キャリア教育などの分野と連携した授業プランが増えている。それらの授業にふさわしい協力ができるように、外国人ボランティア講師を育成する必要がある。</li> <li>*学校への外国人講師派遣の人選にあたり、適性・日時・諸費用などの調整に苦労する。 また、学校や外国人ボランティア講師との反省や次への取り組みへの検討をする機会を持つことなど、より良い授業協力につなげる体制づくりが必要である。</li> <li>*東京オリンピック・パラリンピックを前に、東京都教育委員会の推進する東京都オリンピック・パラリンピック教育に関連する授業提案と連携して、学校の国際理解教育推進に一層協力できるような体制づくりをしていく必要がある。</li> </ul>	

#### IV. 広報事業 (委員会)

概 要	詳 細
○会報の発行	<p>○会報「地球市民プラザ八王子だより」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偶数月に発行(第 47 号～第 52 号)、広報委員会で紙面の企画・構成を検討し、各委員会に原稿作成を依頼し、編集した。</li> <li>・八王子国際協会の団体会員と賛助団体会員の活動内容を掲載した。</li> <li>・会報 50 号を契機にカラー印刷で提供して、好評を得ている。</li> <li>・会報をホームページへ転載した</li> </ul> <p>(日本語版とともに英語・中国語版の会報も掲載)</p>
○ホームページの改善と管理	<p>○ホームページの改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーな情報提供が出来るよう体制を強化した。</li> </ul> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新着情報(“Whats New”)で、講座の開催案内やイベントへの参加募集など、1 年間に 59 件の情報発信をした。</li> </ul> <p>○ホームページ・アドレスの相互交換</p> <p>TENGU (高尾山英語ボランティア ガイド クラブ)</p> <p>○語学ボランティアや外国人市民を対象に Facebook で、当国際協会の催し物や活動状況をタイムリーに発信した。</p>
○市の広報紙、J:COM 八王子、新聞、ミニコミ紙などを通じて活動情報を提供	<p>○市広報紙での広報活動</p> <p>「広報はちおうじ」や外国人向情報紙「Ginkgo」、外国人のモバイル情報などに講座やイベント情報を提供</p> <p>○テレビ、新聞、ミニコミ紙、活動情報を提供</p> <p>①防災・災害関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読売新聞多摩版(5月): 八王子外国人防災に力の記事が掲載</li> <li>・よみっこ(9月): 由井地区「防災フェスタ」の案内を掲載</li> </ul> <p>②国際交流フェスティバル関連</p> <p>読売新聞多摩版(朝刊): フェスティバス実施の報告</p> <p>J:COM 八王子 放映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッパー(10月)・よみっこ(9月)・リビング多摩(11月)</li> <li>・もしもししんぶん(11月)</li> </ul> <p>③世界の人とふれあいタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッパー(4月): セネガルの話の開催を紹介</li> <li>・ショッパー(9月): サウジアラビアの話の開催を紹介</li> <li>・もしもし新聞(5月): コロンビアの話の開催を紹介</li> <li>・もしもし新聞(3月): メキシコの話の開催を紹介</li> <li>・「よみっこ」(3月): メキシコの話の開催を紹介</li> </ul> <p>④地域における国際交流(八王子いちょう祭に参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェイコム八王子(J:COM) 当日の民族音楽・民族舞踊の様子はニュースや特集番組で放映</li> <li>・「よみっこ」(10月): 「若者の参加・ボランティアの活躍」掲載</li> </ul>

<p>○オトパに出展</p> <p>○J:COM 八王子「八王子人図鑑」</p> <p>○「はちコミねっと」に登録し情報発信を開始した</p> <p>○大学との連携</p> <p>○市民団体との連携</p>	<p>⑤講座案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい日本語講座：もしもし新聞・、よみっこ（5月）</li> <li>・ドミニカ共和国冒険談：よみっこ（2月）</li> </ul> <p>○第16回お父さんお帰りなさいパーティ in 南大沢 9月12日(土) 会場の南大沢文化会館に、出展して当会の活動を来場者に説明して、会員募集を行った。</p> <p>○第17回お父さんお帰りなさいパーティ 平成28年3月12日(土) 会場の八王子労政会館に、出展して当会の活動をアピールして会員の募集活動を行った。 また、団体紹介冊子に当協会の紹介案内に掲載された。</p> <p>○「八王子人図鑑」に平野理事長が出演、J:COM 八王子で、放映された。</p> <p>○「はちコミねっと」(八王子市内を中心とする様々な地域活動に、誰もが気軽に参加できることを目的として、八王子市が開設したサイト(平成28年3月1日オープン))に、八王子国際協会も登録して、様々な市民活動団体や市民向けに協会の活動を紹介する活動(協会の活動紹介、会員募集、各イベントの紹介と参加募集)を開始した この結果、「世界の人とふれあいタイム」等に、新しい参加者が増えている。</p> <p>○首都大学東京ボランティアセンターとの連携 (首都大学東京は4月に学生向けボランティアセンターを設立) ・サマーボラ2016(7月6日、7日)に出展、当協会の活動を説明 ・1day ボランティア(11月、12月)に参加、学習支援(駅前・北野教室)でのボランティアの場を提供した。</p> <p>○創価大学学生課との連携 「外国人おもてなしボランティア育成講座」の学内開催(9月・12月)で、ボランティア活動の場として八王子国際協会を紹介 その結果、学生数名が当協会を訪ねて来て、ボランティア活動に参加した。</p> <p>○拓殖大学国際学部岡田ゼミとの連携 5月に岡田ゼミの学生が当協会に来訪しお互い情報交換をした。 その後、主要なイベントの案内をメールで行い、ゼミ生が参加している。</p> <p>○Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会との連携 Dr. 肥沼の会に実行委員として参加、事業や催し物(12月4日)等に協力した。</p> <p>○イピルイピルの会との連携 ボスニア・ヘルツェゴビナ子供絵画展、八王子中央図書館(2月21日～27日)を後援して、活動に協力した。</p>
---	---

<p>○委員会</p>	<p>○八王子 NPO フェスティバル実行委員会に参加        (八王子市制 100 周年事業) 5 月 27 日に八王子国際友好クラブと一緒に        出展する準備をしている。</p> <p>○その他 後援や協力した団体        八王子青年会議所 (海外から学ぼう)、八王子古本祭り、北原国際病院        (カンボジアに病院輸出)、JICA (わたしはマララ映画会)、東京都国際        交流団体連絡会事業、八王子生涯学習コーディネータ会、三鷹市教育        委員会指導課 等</p> <p>○年 12 回開催        (4/24、6/2、6/28、8/5、8/26、10/11、10/20、12/12、        12/20、2/10、2/20、3/21)</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 積極的な広報活動により、各種メディアや地域情報誌等に当協会の活動が紹介されて、認知度が高まった。</li> <li>* 協会会報に団体会員や協賛団体会員の紹介欄を連載して、各団体の活動状況が周知され情報の共有化が図れた。</li> <li>* ホームページ、Facebook からの情報発信を活発に行い、講座・イベントの参加者増加に貢献した。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 会員と手軽に双方向のやり取りができる会報やホームページづくりを検討したい。</li> </ul>	

## V. 八王子市からの受託事業

### 1. 事業名： 在住外国人のためのサポートデスク

概 要	詳 細
○外国人のための生活相談、専門家の窓口紹介、暮らしの情報提供	<p>○サポートデスク対応相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談日時：月～土曜日 午前10時～午後5時</li> <li>・相談件数：960件(4月～29年3月) (生活相談196、日本語支援229、就職相談11、ボランティア希望116、住宅6、就労3、医療52、その他357)</li> <li>・相談内容：日本語支援、学習支援、教育、子育て、ビザ、労働問題、年金、税金、医療、防災、離婚、交流、通訳・翻訳など</li> <li>・相談者国別人数：計951名 (日本297、中国195、韓国43、フィリピン115、ペルー36、ブラジル9、アメリカ15、他39か国241)</li> </ul>
○行政書士による外国人個別相談の実施	<p>○行政書士の相談内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談日：毎月第2土曜日 午後2時～5時</li> <li>・相談件数：30件(4月～29年3月)</li> <li>・相談内容：ビザ、離婚、子どもの呼び寄せ、遺産等</li> </ul>
○語学ボランティアの活動	<p>○語学ボランティアが次の場で通訳を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サポートデスク」 9月から水曜日午後、1月から水・土曜日の午後中国語語学ボランティアが常駐し、中国語相談対応ができた。</li> <li>・「行政書士による外国人個別相談」 6月から英語、中国語、タガログ語、スペイン語の通訳、10月から英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語通訳が常駐し多言語対応ができた。</li> </ul>
○語学ボランティア研修	<p>さまざまな場面で活動する語学ボランティア向けに、八王子国際協会の活動について研修を行った。</p> <p>○第1回語学ボランティア研修 ～サポートデスクと外国人相談～ 日時：平成28年9月17日(土) 会場：国際交流室 参加者：10名(含むベトナム1名)</p> <p>○第2回語学ボランティア研修 ～八王子国際協会 災害時の外国人支援について～ 日時：平成28年10月22日(土) 会場：国際交流室 参加者：7名</p> <p>○第3回語学ボランティア研修 ～八王子国際協会 学習支援と国際理解教育～ 日時：平成28年11月5日(土)</p>

	<p>会場：国際交流室 参加者：13名(含む中国1名、韓国1名)</p> <p>○第4回語学ボランティア研修 ～八王子での日本語学習の外国人支援について～ 日時：平成28年12月17日(土) 会場：国際交流室 参加者：14名</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*八王子の在住外国人が1万人を超え、問題は複雑化し多様化しているが、専門家や他機関とより緊密に連携できるようになり、解決につながった。</li> <li>*相談者の希望に沿って、問題がその場で解決できなくても、話を十分に聞くなどの対応ができた。</li> <li>*9月から水・土曜日の午後中国語語学ボランティアが常駐し、サポートデスクで中国語相談対応ができた。また、「行政書士による外国人個別相談」にも6月から英語、中国語、タガログ語、スペイン語の通訳、10月から英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語が常駐し。多言語対応ができた。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*まだ、中国語ボランティアが常駐していることが、市民に十分周知されていない。</li> <li>*外国人もネットで検索するなどして問題解決のための努力もしており、より精度の高い対応が求められている。</li> </ul>	

## 2. 事業名： 外国人のための無料専門家相談会 （委員会）

概 要	詳 細
<p>○第 13 回「外国人のための無料専門家相談会」の開催</p> <p>東京外国人支援ネットワークによる都内 17 ケ所の「リレー相談会」のうちの 1 回を八王子市で実施</p>	<p>○無料専門家相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成 29 年 2 月 26 日(日)</li> <li>・場所：学園都市センター ギャラリーホール</li> <li>・相談件数：15 件 (ビザ、年金、家族、離婚、労働、など)</li> <li>・相談者数：13 人(同伴者を除く)</li> </ul> <p>相談者国別人数： 中国 3、フィリピン 3、ベトナム 1、イギリス 1、ペルー 1、ブラジル 1、日本 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営者数：専門家・相談員 12 名、通訳(語学ボランティア)15 名、スタッフ 15 名 (含む語学ボランティア 2 名)</li> </ul>
<p>○フィードバックミーティング</p>	<p>○当日相談会終了後</p> <p>相談会参加者全員（専門家、相談員、通訳、運営スタッフ）から相談会について感想、意見を発表してもらった。</p>
<p>○研修会の実施</p>	<p>○研修会</p> <p>「外国人相談における法律相談の基礎知識・事例検討」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：12 月 10 日(土)</li> <li>・場所：国際交流室</li> <li>・講師：栗原 亮介弁護士 (当国際協会理事・多摩パブリック法律事務所所属)</li> <li>・参加者：24 名(含む中国 1 名、韓国 1 名、ベトナム 1 名、語学ボランティア 20 名)</li> </ul>
<p>○事前シミュレーション研修の実施</p>	<p>○事前シミュレーション研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成 29 年 2 月 18 日(土)</li> <li>・場所：クリエイトホール 第 2 学習室</li> <li>・内容：運営スタッフ・通訳の顔合わせおよびロールプレイングによる役割・動きの確認を行った。</li> <li>・参加者：23 名 (含む語学ボランティア 21 名)</li> </ul>
<p>○反省会（委員会兼）</p>	<p>○反省会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：3 月 4 日(土)</li> <li>・場所：国際交流室</li> <li>・内容：次年度以降の相談会をより充実するため、今回の相談会の「実施記録」「フィードバックミーティング集計」専門家、相談員、通訳、運営スタッフ、相談者からの「アンケート」を検討し、今回相談会の総括(反省)をした。</li> <li>・参加者：6 名</li> </ul>
<p>○委員会</p>	<p>○年 5 回開催（7/21、9/29、12/12、2/18、3/4）</p>

成果：

- \*八王子市外からの相談者が多く、PRの効果があつた。
- \*シミュレーションにほとんどのスタッフと語学ボランティアが参加し、本番さながらに真剣に取り組めた。一度流れを確認したので、全体の流れがよくわかつた。
- \*今年度はベトナム語の相談が1件あつた。

課題：

- \*1人の相談者から2件以上の相談があつた場合の手順がはっきりしていなかつた。
- \*相談時間が短かつたとの専門家や通訳、相談者からの意見があつた。相談時間30分を理解してもらう工夫が必要である。
- \*相談後、有料でも相談できる場所などを提案したほうが良い。
- \*通訳の言語レベルアップが課題である。

### 3. 外国人市民の町会・自治会への防災訓練参加（防災災害対応委員会）

概 要	詳 細
<p>○町会・自治会主催の防災訓練に外国人、語学ボランティア、協会職員が参加</p> <p>災害時の対応等も含めた、外国人の防災意識の向上に資するとともに、外国人市民と地域のつながりのきっかけづくりをするため、町会・自治会等と連携し、外国人市民を対象とした地域の防災訓練に参加</p> <p>○災害ヘルプカードの改訂と配布</p>	<p>○地域の防災訓練へ参加</p> <p>①8月28日（日）、市内の南新町ちびっこ公園で行われた。4町会合同防災訓練（南町、南新町、八日町、上八日町）に、外国人留学生、語学ボランティア、委員会委員など24名が参加した。</p> <p>②9月24日（土）、市内の片倉つどいの森公園で行われた。由井地区町会・自治会連合会主催の体験型防災訓練である防災フェスタに、外国人留学生、語学ボランティア、委員会委員など30名が参加した。</p> <p>○災害ヘルプカード改定版2,000部を、関係先へ配布した。</p>

成果：

- \*八王子市に居住する外国人が、居住する町会・自治会主催の防災訓練に参加することにより、支援スキームの外国人への周知が浸透し、訓練へ参加する外国人の増加が期待できる。また、町会自治会の関心度が高まり効果は抜群である。
- \*両地区とも「東京都地域の底力再生事業助成金対応・国際化」事業に協力し感謝された。

課題：

- \*地域在住の外国人が把握されていない。
- \*町会自治会の日常活動に、外国人市民に対する視点がない。

#### 4. 国際理解教育 (国際理解教育委員会)

概 要	詳 細
○研修会・講演会の実施	<p>○教員のための国際理解教育ワークショップ 「オリンピック・パラリンピック教育と多文化共生教育」 内容：オリンピック・パラリンピックは、ヒトの多様性に関する自己の中に潜む見方やステレオタイプについて見直すよい機会です。固定観念を取り除き、理解のあり方を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：7月27日（水）</li> <li>・会場：八王子市教育委員会 教育センター大会議室</li> <li>・講師：中山 京子氏（帝京大学教育学部教授）</li> <li>・参加者：60名</li> </ul>
<p>成果</p> <p>*教育委員会夏の教員パワーアップ研修のプログラムのひとつ、国際理解教育部の研修を、当国際理解教育委員会が受託して、企画・運営をした。定員いっぱいの会場で、中山講師の巧みな講話に参加した教員は時間を忘れるように熱心に受講していた。研修会の効果は十分に得られた。</p> <p>課題</p> <p>*オリンピック・パラリンピック教育を取り入れてやる授業は、学校教員において至難の業と思われるが、当委員会では都教委の示す目標並びに知識や理解を深め、取り組んで行かねばならない。</p>	

#### 5. コミュニケーション支援 (外国人コミュニティ支援プロジェクト委員会)

○外国人市民のネットワークの構築	<p>○コミュニティグループに参加できるようにグループイベントを開催して、PRに努めた。</p> <p>○コミュニティグループイベント</p> <p>第1回 「第1回日本料理教室」～炊き込みご飯と味噌汁～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：5月15日（日）</li> <li>・会場：クリエイトホール料理講習室</li> <li>・参加者：9名（含む中国1名、ウクライナ1名、フィリピン2名、子ども1名）</li> </ul> <p>第2回 「石川酒造へ行こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：7月24日（土）</li> <li>・会場：石川酒造</li> <li>・参加者：9名（含むアメリカ1名、ベルギー1名、台湾1名、ベネズエラ1名、）</li> </ul> <p>第3回 「着物を着て お抹茶を飲みましょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月2日（日）</li> <li>・会場：学園都市センター 和室</li> <li>・講師：樋口 ガブリエラ氏(エクアドル)</li> <li>・参加者：3名（中国2名、マレーシア1名） （八王子国際交流フェスティバルに参加）</li> </ul>
------------------	--

<p>○プロジェクト委員会</p>	<p>第4回 「第2回日本料理教室」～うどんとみつまめ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：10月29日（土）</li> <li>・会場：クリエイトホール料理講習室</li> <li>・参加者：11名（含む中国2名、台湾1名、フィリピン1名、子ども3名）</li> </ul> <p>第5回 「第3回日本料理教室」～お正月料理～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：12月3日（土）</li> <li>・会場：クリエイトホール料理講習室</li> <li>・講師：星野 厚子氏（元戸板女子短期大学教授、料理研究家、ふるさとの食を拓く会代表）</li> <li>・参加者：18名（含む中国5名、韓国1名、マレーシア1名、子ども6名）</li> </ul> <p>○フェイスブック研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成29年2月25日（土）</li> <li>・場所：国際交流室</li> <li>・テーマ：スマホを使って、料理を楽しもう</li> <li>・内容：多言語レシピサイト、ひらがなレシピサイト、外国人が教える料理教室について</li> <li>・参加者：7名（含む中国3名、タイ1名、フィリピン1名）</li> </ul> <p>○やさしい日本語講座</p> <p>第1回 ～外国人にわかりやすい日本語で伝えよう！～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：6月25日（土）</li> <li>・講師：梶村 勝利氏（東京日本語ボランティアネットワーク）</li> <li>・会場：八王子生涯学習センター 第5セミナー室</li> <li>・参加者：23名</li> </ul> <p>○年2回開催（5/15、3/4）</p>
<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*イベントやチラシなどを通して、当国際協会のFacebookに興味を持ち、コミュニティ・グループに入る人が増えてきた。Twitterでも情報提供ができた。</li> <li>*外国人にとってわかりやすい日本語として「やさしい日本語」を提案できた。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*Facebookは、情報提供の方法としては効果が高いが、外国人コミュニティを支援するには、外国人コミュニティ・グループが必要としている話題や生活情報を提供できなければならない。</li> <li>*外国人が安心して集まれる場（交流サロン等）がない。</li> <li>*「やさしい日本語」をどのように使うか具体的に提案していく必要がある。</li> </ul>	